



KENMEI GAKUIN

2024年度 事業報告書

学校法人賢明学院

賢明学院高等学校 全日制課程
賢明学院高等学校 通信制課程
賢明学院中学校
賢明学院小学校
賢明学院幼稚園

目 次

法人の概要

◆建学の精神	・・・	2
◆設置者並びに設置する学校	・・・	3
◆役 員	・・・	3
◆評議員	・・・	4
◆沿 革	・・・	5
◆歴代理事長・学院長・園長・校長	・・・	6
◆設置するコース及び授業料等納付金	・・・	7
◆教員数並びに生徒・児童・園児数一覧	・・・	8
◆組織図	・・・	9
◆関西学院大学との協定と関西学院大学特進サイエンスコースの設置	・・・	10

事業の概要

◆事業計画についての実施状況報告	
2024年度事業計画及び事業実績の概要	・・・ 11

財務の概要

◆計算書類についての概要	・・・ 12
--------------	--------

2024年度計算書類

◆資金収支計算書 (資金収支内訳表含む)	・・・ 13
◆事業活動収支計算書 (事業活動収支内訳表含む)	・・・ 14
◆貸借対照表	・・・ 15
◆財産目録	・・・ 16
◆財務分析	・・・ 17

2024年度監査報告

◆監事による監査報告書の写し	
----------------	--

＜法人の概要＞

◆建学の精神

キリスト教的人間観・世界観と一人ひとりの人格を何よりも尊重する。

創立者マリー・リヴィエの教育精神を継承し、世界の平和と発展に自ら貢献できる人間を育成する。

＜創立者：聖マリー・リヴィエ＞

1768年 12月 モンプザ（仏）にて生誕

1795年 11月 サン・スルピス会 ポンタニエ神父よりAM（AVE MARIA）の
印章を拝領 修道院のシンボルとする

1796年 11月 聖母奉献修道会創立

1838年 2月 ブール・セント・アンデオールにて帰天

1982年 5月 教皇ヨハネ・パウロ2世より列福

2022年 5月 教皇フランシスコより列聖

◆マリー・リヴィエの肖像



◆AM（アヴェ・マリア）をあしらった賢明学院の校章



◆設置者並びに設置する学校

設置者：学校法人賢明学院

代表者：理事長 高畠 政行

所在地：大阪府堺市堺区霞ヶ丘町四丁 3-30

(連絡先：法人事務局 電話 072 - 243 - 8001)

設置する学校：以下の4校

学校名	所在地及び連絡先	
賢明学院高等学校	大阪府堺市堺区霞ヶ丘町四丁 3-30	電話 072 - 241 - 1679
賢明学院中学校	大阪府堺市堺区霞ヶ丘町四丁 3-30	電話 072 - 241 - 1679
賢明学院小学校	大阪府堺市堺区霞ヶ丘町四丁 3-27	電話 072 - 241 - 2657
賢明学院幼稚園	大阪府堺市堺区霞ヶ丘町四丁 1-9	電話 072 - 241 - 5605

※高等学校は全日制課程と通信制課程を併設する

◆役員（任期：2025年定時評議員会終結時まで）

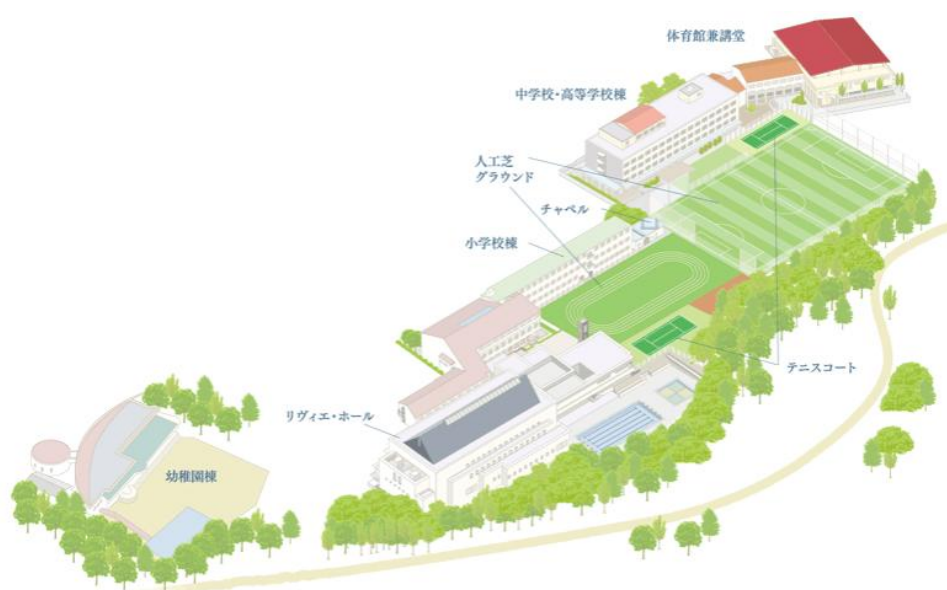
区 分	氏 名 (常勤・非常勤の別)	選任区分：役職等
理事長	高畠 政行 (非)	2号：カトリック大阪大司教区主任司祭
副理事長	大原 正義 (非)	3号：賢明学院中学高等学校前校長
理 事	石森 圭一 (常)	1号：賢明学院中学高等学校校長
	谷口 晋哉 (常)	1号：賢明学院小学校校長
	渡邊 泰夫 (常)	3号：賢明学院中学高等学校副校長
	鎌田 博道 (常)	3号：学校法人賢明学院法人事務局局长
	中西 美繪 (非)	2号：聖母奉献修道会日本地区長
	別城信太郎 (非)	4号：弁護士
	土井 健司 (非)	4号：関西学院大学副学長
	加藤 知 (非)	4号：学校法人関西学院理事
監 事	板戸 史朗 (非)	公認会計士 元学校法人関西学院内部監査室長
	塚本 修志 (非)	社会保険労務士

◆評議員（任期：２０２５年定時評議員会終結時まで）

選出区分	氏 名 等	
１号評議員	石森 圭一	中学高等学校校長
	谷口 晋哉	小学校校長
	北口 朝美	幼稚園園長
２号評議員	富未 豪	評議員会選任教職員（中学高等学校教頭）
	木谷 哲也	評議員会選任教職員（高等学校通信制課程教頭）
	安達 貞夫	評議員会選任教職員（小学校教頭）
３号評議員	廣畑 顕一	小学校卒業生
	藤木 利典	小学校卒業生（前同窓会会長・元保護者会会長）
	喜代田 洋志	小学校卒業生（保護者会顧問・前保護者会会長・中学校保護者）
	久保 善見	中学校保護者（保護者会顧問・元保護者会会長）
	岸村 美千代	小学校・中学校・高等学校卒業生
	比嘉 泰江	中学校・高等学校卒業生
４号評議員	高畠 政行	理事の互選
	中西 美繪	理事の互選
	土井 健司	理事の互選
	加藤 知	理事の互選
５号評議員	別城 信太郎	学識経験者（弁護士）
	大原 正義	学識経験者（前中高校長・元小学校校長）
	秋田 みゑ子	司祭・修道会の推薦（聖母奉献修道会）
	渡邊 泰夫	司祭・修道会の推薦（信徒）
	角田 陽子	司祭・修道会の推薦
	鎌田 博道	司祭・修道会の推薦

◆沿革

1948年	6月	カナダから修道女来日 聖母奉献修道会日本地区本部設立
1951年	10月	アベノ・カトリック幼稚園設置認可
1954年	7月	霞ヶ丘カトリック幼稚園設置認可
1955年	4月	宗教法人から学校法人賢明学院に組織変更認可
1959年	9月	賢明学院小学校設置認可
1960年	4月	小学校校舎落成祝別式举行
1962年	10月	第1回交歓バザー開催
1964年	9月	園名を賢明学院幼稚園と改称
1966年	2月	賢明学院中学校設置認可
1970年	11月	賢明学院体育館兼講堂落成祝別式
1980年	11月	学院チャペル・リヴィエ・メモリアル落成 マリー・リヴィエ胸像除幕式
1983年	5月	小学校「つけものデー」を全校実施
1994年	6月	新築幼稚園舎落成
2006年	11月	学院創立50周年記念式典举行
2007年	3月	学院リヴィエ・ホール竣工
2010年	4月	中学校・高等学校を男女共学とする
2012年	8月	中学サッカー部、府大会・近畿大会優勝 全国大会出場（初）
2014年	8月	中学サッカー部 府大会を連覇し全国大会出場決定（2年連続）
	11月	創立60周年記念式典举行（於オリックスホール）
2016年	4月	高等学校通信制課程開設
2019年	7月	高等学校、関西学院大学の系属校となる
2020年	4月	高等学校全日制に関西学院大学特進サイエンスコース設置
2021年	4月	中学校に関西学院理数コース設置
2022年	6月	シャローム広場モニュメント落成（関西学院大学建築学部八木教授設計）
2023年	4月	関西学院大学特進サイエンスコースⅠ期生が関西学院大学に入学



◆歴代理事長・園長・校長

歴代理事長

初代	S r.	ティオデュール	1955年から
2代	S r.	崎間 妙	1982年から
3代	S r.	松田 郁子	1984年から
4代	S r.	中西 美繪	2007年から
5代	F r.	高畠 政行	2020年から

歴代幼稚園園長

初代	シスター	マリー・テレズ	1954年から
2代	シスター	フランシス	1955年から
3代	シスター	アドレアン・マリー	1957年から
4代	シスター	小野 友子	1961年から
5代	シスター	八杉 悦子	1970年から
6代	シスター	鈴木 文子	1989年から
7代	亀谷	和廣	2005年から
8代	留田	久美子	2007年から
9代	岩坂	智美	2009年から
10代	篠原	康二	2015年から
11代	中原	道夫	2018年から
12代	矢野	哲二	2021年から
13代	北口	朝美	2022年から

歴代小学校校長

初代	シスター	アドレアン・マリー	1960年から
2代	シスター	エヴェリン・ウエストマン	1969年から
3代	シスター	山本 照子	1971年から
4代	シスター	松田 郁子	1994年から
5代	中辻	武一	1998年から
6代	兼田	久廣	2001年から
7代	亀谷	和廣	2004年から
8代	目黒	摩天雄	2010年から
9代	篠原	康二	2012年から
10代	南	登章生	2015年から
11代	北村	昌江	2016年から
12代	中原	道夫	2018年から
13代	大原	正義	2021年4月から
14代	板東	正	2021年5月から
15代	谷口	晋哉	2023年から

歴代中学高等学校校長

初代	中学校校長	シスター アドレアン・マリー	1966年から
初代	高等学校校長	シスター 松田 郁子	1969年から
2代	中学校校長	シスター 松田 郁子	1969年から
3代	中学高等学校校長	シスター 佐藤 恭子	1979年から
4代		シスター 中西 美繪	1995年から
5代		シスター 秋田 みゑ子	1998年から
6代		篠原 康二	2006年から
7代		南 登章生	2012年から
8代		大原 正義	2015年から
9代		石森 圭一	2022年から

◆設置するコース（2024年度の募集コース）

学校名	コース名	コースの概要
賢明学院高等学校	関西学院大学 特進サイエンスコース	関西学院大学の理工系学部と連携して、理学部、工学部、生命環境学部、工学部に進学を目指すコース。23年度以降、64名が関学大理工系に進学。 <25年進学実績> 理学 2名 工学 7名 生命 6名 建築 5名 <25年在籍者> 1年生 43名 2年生 36名 3年生 32名
	特進エグゼコース	国公立大、難関私大、医歯薬系などを目指す選抜コース
	特進コース	保育、医療、看護、芸術等多様な進路に対応するコース
賢明学院中学校	関西学院理数コース	関西学院大学特進サイエンスコースへの優先入学枠を有するコース
	総合コース	基礎学力の定着によって3年間での学力の伸長が顕著

◆授業料等納付金（2025年度授業料年額）

	幼稚園	小学校	中学校	高等学校全日	高等学校通信
検 定 料	5,000	20,000	20,000	20,000	10,000
入 学 金	65,000	200,000	250,000	250,000	250,000
授業料(保育料)	300,000	588,000	588,000	588,000	12,000 ※1単位の単価
教育充実費	42,000	42,000	0	42,000 ※関学コースのみ	0
施設設備拡充費	0	60,000	55,500	55,500	0
付加学習費	—	—	—	—	180,000 ※SPコースのみ

※修学旅行積立金や教材費等の諸費用については別途徴収

※中学・高等全日制は、大阪府を除く近畿1府4県在住者の入学検定料を免除

◆教員数並びに生徒・児童・園児数一覧

２０２４年度の教員及び生徒・児童・園児の在籍数は下表の通りである。

教職員数

	幼稚園	小学校	中学校	高等学校 全日制	高等学校 通信制	合 計
本務教員	１８名	２４名	２２名	３８名	８名	１１０名
兼務教員	６名	７名	３名	１５名	１名	３２名
本務職員	１名	３名	３名	７名	０名	１４名
兼務職員	３名	１１名	２名	２名	０名	１８名
合 計	２８名	４５名	３０名	６２名	９名	１７４名

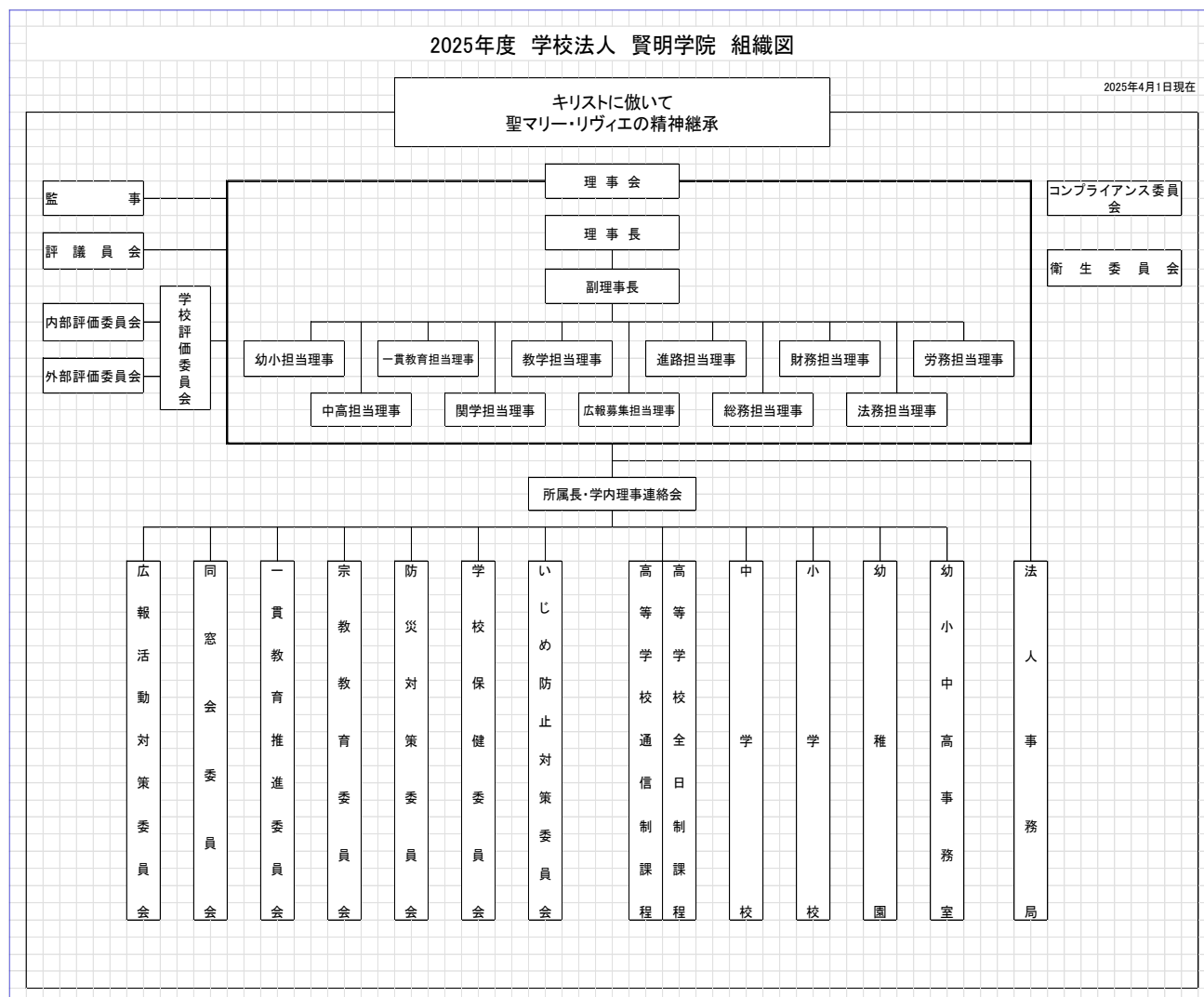
※５月１日時点の実数

生徒数・児童数・園児数

	幼稚園	小学校	中学校	高等全日	高等通信	合 計
満３歳児	２７名	—	—	—	—	２７名
１年次 (３歳児)	２９名	３７名	６１名	１６７名	６４名	３５８名
２年次 (４歳児)	４６名	３９名	６０名	１３０名	６５名	３４０名
３年次 (５歳児)	３８名	３５名	６９名	１４０名	７３名	３５５名
４年次	—	４５名	—	—	—	４５名
５年次	—	３１名	—	—	—	３１名
６年次	—	５１名	—	—	—	５１名
合 計	１４０名	２３８名	１９０名	４３７名	２０２名	１２０７名

※３月１日時点の在籍数

◆組 織 図



◆関西学院大学との協定と関西学院大学特進サイエンスコースの設置について

2019年7月18日、賢明学院中学高等学校は関西学院大学と「推薦入学制度等に関する協定」を締結し、関西学院大学の系属校となった。この協定は、本校の校訓である「祈る・学ぶ・奉仕する」と、関西学院大学のスクールモットーである「**Mastery for Service**（奉仕の為の練達）」が実質的に一致することから、カトリックとプロテスタントという枠組みを超えて社会に貢献する人材育成を行うことができるとの双方の判断によって実現したものである。

高等学校が本年度から設置した関西学院大学特進サイエンスコース（定員70名）は、校内の基準をクリアすれば関西学院大学の理工系4学部（理学部・工学部・建築学部・生命環境学部）へ進学することが可能となるコースである。このコースでは、理数教育に力を入れるのはもちろん、将来の研究者を志す生徒自らが課題を見つけ、それを解決するための力を養うためのカリキュラムを設けている。具体的には、高校在学中に問題意識のある分野について、AP科目の中でプレ卒業論文を作成することで、大学入学後の研究をいっそう深いものにする。さらに、科学に携わる者にとって英語力は必須であることから、全員が英検2級レベルの習得ができるように指導していく。また、2021年度からは中学校にも関西学院理数コースを設置し、中高一貫で理数教育・英語教育に注力し、有為な人材の育成を推進している。

2022年度は、関西学院大学特進サイエンスコースⅠ期生が卒業し、本コースから関西学院大学へ18名が進学した。また、2023年度に卒業したⅡ期生は、21名が同大学へ進学している。Ⅰ期生もⅡ期生も、在籍生徒の80%程度が内部進学基準をクリアしたことになるが、今後は早急にこの比率を100%に近づけるよう、必須要件である英検2級・数検2級等の取得のための指導に全力を注ぐ。

これまで、中高ともに関学コースは1クラスであったが、2024年度は中学関学理数コースが2クラス体制となったのに続き、2025年度は高校、中学ともに2クラス体制となった。次年度以降は、35名×2クラス体制とし、最大枠である70名全員を関西学院大学に送り出せるよう、指導体制を整えていく。そのための手段として、今年度は土曜日に設けた英検等の対策講座の受講を必修として位置づけ、確実に内部進学基準をクリアできる体制をとっている。

◆中学関西学院理数コース

高等学校の関西学院大学特進サイエンスコースへの優先枠を持つコースであり、中学のうちから関西学院大学への進学を念頭においた資格取得や、大学訪問などを行っていく。年々入学希望者が増加しており、2024年度、2025年度は2クラス体制となった。今後も入学希望者の増加が見込まれるため、いっそうの学力向上が期待できる。

関西学院大学三田キャンパス



＜事業の概要＞

	重点施策	具体的内容
中高	① 2期制への移行 ② クラブ指導体制の見直し ③ 関西学院大学進学強化 ④ 募集体制の強化 ⑤ 生徒の自主性の尊重	① 授業時間数の増加 放課後（チャレンジタイム）の有効活用 ② 外部コーチの登用による、指導体制の充実 ③ 英検・数検取得プログラム A P 科目の指導体制の強化 ④ 中学校別説明会の実施 堺市立中学校長経験者採用による募集強化 ⑤ 携帯、制服等の運用方法の見直し（ジャケット自由化）
通信制	① 補習、補講の強化 ② 多様な学びの場の提供	① 英語科教員の増員 ② 2025年度より授業料等を見直し、保護者負担を軽減。 平日コース「スタンダードプラス」を開設し、2024年度から募集開始。入学希望者のほとんどが平日コースを希望
小学校	① 教育活動の見直し ② 募集活動の強化	① 教育改革のプロジェクトチームの設置 外部講師（トヨタ・カルビー・関学今津屋副学長、巳波副学長）等による出張授業 ② 入試イベントの増加 入試制度の見直し（A日程における筆記試験の復活）
幼稚園	① 認定こども園化 ② 未就園児クラスの充実	① 学納金等の改定 英語カリキュラムの見直し 預り保育担任を設置し、保育内容のカリキュラムを作成 モンテッソーリ教育の充実 （数：加減 言語：助詞 文化：世界 生活：機織り 等） ② 未就園児担任の設置
施設	① 中高人工芝の更新 ② 中高サイエンス棟 ③ 駐輪場増築 ④ H P の更新 ⑤ 全校舎の L E D 化 ⑥ 幼稚園遊戯室・遊具 ⑦ 小学校空調 ⑧ 「トトロの森」整備	① 施工完了 ② 建築委員会を立ち上げ、新校舎建設を計画中 ③ キャパシティーに余裕があるため計画中止 ④ 2025年度更新に向けて準備中 ⑤ 2025年度に一部実施予定 ⑥ 「ディノワールド」設置 ⑦ 一部更新済、2025年度に追加更新 ⑧ 2025年度売却予定

財務の概要

当学院の財務状況は、2020年から2022年にかけて人件費比率が90%近くになるなど、非常に厳しい状況にあったが、2023年度から2024年度にかけて10ポイント近く改善している。2025年度も生徒の増加による収入の増加や、納付金の見直し、人事配置の調整等によって財務状況がさらに改善すると見込まれるため、これまでマイナスが続いていた事業活動収支は、2025年度決算で均衡する可能性が高い。次年度以降は収支均衡を保ったうえで、施設設備への投資や、教育活動の充実を図っていく。

◆計算書類について

資金収支計算書（資金収支内訳表含む）

資金収支計算書は、収入・支出の内容を明らかにするとともに、その収支を予算と比較する事で、教育活動が計画通り円滑に行われたかどうかを財務的観点から検証するものである。また、運転資金を意味する「支払資金」について、前年度繰越額から次年度繰越額に至る経緯を示す事も目的の一つであるため、後述する事業活動収支計算書と異なり、借入による収入や、固定資産購入等による支出も含まれる。企業会計におけるキャッシュフロー計算書に近い財務諸表である。

事業活動収支計算書（事業活動収支内訳表含む）

事業活動収支計算書は資産やサービスの消費額である事業活動支出と、その填補に充当できる事業活動収入を対比して、両者の均衡の状態を明らかにするためのものである。純資産の増減を伴うものについて事業活動収入及び支出とするため、純資産額が変化しない借入による収入や、固定資産の購入による支出等は含まない。企業会計における損益計算書に類似するものであるが、基本金組入額を基本金組入前収支差額から控除して基本金組入後収支差額を計算するなど、学校会計独自の記載を含む。

貸借対照表

貸借対照表は年度末における学校法人の財政状態を明確化する計算書類である。企業会計では、流動資産から順に明示する流動性配列法が一般的であるが、学校法人においては校地や校舎などの固定資産が重要である為、固定資産から配列する固定性配列法をとっている。

財産目録

財産の内訳を明示している。これに示した3月31日時点の純資産額は、組合等登記令等法令の定めるところにより、6月末日までに登記を行っている。

財務分析

公開している計算書類をもとに、財務内容について本学院独自に分析したものである。

◆ 資金収支計算書(資金収支内訳表含む)

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月31日

学校法人賢明学院
(単位:千円)

収入の部

科 目	2024年度当初予算	2024年度実績					
	学院合計 (法人本部含)	学院合計 (法人本部含)	高 校 (全日制)	高 校 (通信制)	中 学	小学校	幼稚園
学生生徒納付金収入	728,679	600,802	213,156	68,470	138,242	172,675	8,260
手数料収入	7,298	10,292	5,349	703	3,021	960	260
寄付金収入	5,700	22,589	6,300	2,080	1,400	5,164	4,900
補助金収入	408,385	621,194	303,845	32,820	61,265	73,905	149,359
資産運用収入	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	8,000	13,218	1	0	1	0	11,907
受取利息・配当金収入	3	29	0	0	0	0	0
雑収入	28,174	36,603	8,558	30	1,884	20,179	4,073
小 計	1,186,239	1,304,727	537,209	104,103	205,813	272,883	178,759
借入金収入	350,000	500,000					
前受金収入	73,100	73,606					
その他の収入	75,905	25,855					
資金収入調整勘定	-100,233	-127,246					
前年度繰越支払資金	70,000	124,018					
収入の部 合計	1,655,011	1,900,960					

支出の部

科 目	2024度当初予算	2024年度実績					
	学院合計 (法人本部含)	学院合計 (法人本部含)	高 校 (全日制)	高 校 (通信制)	中 学	小学校	幼稚園
人件費支出	985,848	1,042,178	422,281	65,137	188,727	238,723	118,804
教育研究経費支出	199,037	187,452	77,585	18,194	29,329	39,551	22,793
管理経費支出	41,928	46,820	14,585	3,430	6,399	2,457	6,981
施設関係支出	0	88,382	87,032	0	657	693	0
設備関係支出	6,372	15,688	337	0	228	4,072	11,051
小 計	1,233,185	1,380,520	601,820	86,761	225,340	285,496	159,629
部門別資金収支差額	—	—	-64,611	17,342	-19,527	-12,613	19,130
借入金関係支出	367,340	368,274					
借入金等利息支出	1,500	2,434					
借入金返済支出	365,840	365,840					
資産運用支出	700	2,373					
退職給与引当特定資産への繰入支出	0	2					
減価償却引当特定資産への繰入支出	0	1					
期成会事業引当特定資産への繰入支出	700	1,059					
スカラーシップ引当特定資産への繰入支出	0	1,311					
その他の支出	81,864	50,168					
資金支出調整勘定	-31,194	-54,470					
次年度繰越支払資金	3,112	154,095					
支出の部 合計	1,655,007	1,900,960					

◆ 事業活動収支計算書(事業活動収支内訳表含む)							
自 2024年 4月 1日							
至 2025年 3月31日							
学校法人賢明学院							
(単位:千円)							
教育活動収支							
科 目	2024年度予算	2024年度実績					
	学院合計 (法人本部含)	学院合計 (法人本部含)	高校全日	高校通信	中 学	小学校	幼稚園
事業活動収入の部 合計	1,186,236	1,293,198	532,309	103,737	206,087	270,873	174,259
(学生生徒納付金収入)	728,679	600,802	213,156	68,470	138,242	172,675	8,260
(手数料)	7,298	10,293	5,349	703	3,021	960	260
(寄付金)	5,700	11,362	1,400	1,400	1,400	3,017	1,400
(経常費等補助金補助金)	408,385	620,194	303,845	32,820	61,265	73,905	148,359
(付随事業収入)	8,000	13,218	1	0	0	0	11,907
(雑収入)	28,174	37,329	8,558	344	2,159	20,316	4,073
事業活動支出の部 合計	1,336,564	1,388,006	545,191	87,138	245,006	328,437	160,359
(人件費)	985,848	1,043,746	425,650	65,137	190,669	235,003	118,781
(教育研究経費)	308,387	297,030	104,956	18,571	47,938	90,977	34,587
(管理経費)	42,329	47,220	14,585	3,430	6,399	2,457	6,981
(徴収不能額等)	0	10	0	0	0	0	10
教育活動収支差額	-150,328	-94,808	-12,882	16,599	-38,919	-57,564	13,900
教育活動外収支							
科 目	2024年度予算	2024年度実績					
	学院合計 (法人本部含)	学院合計 (法人本部含)	高校全日	高校通信	中 学	小学校	幼稚園
事業活動収入の部 合計	30	30	0	0	0	0	0
(受取利息配当金)	30	30	0		0	0	0
事業活動支出の部 合計	2,434	2,434	0	0	0	0	0
(借入金等利息)	2,434	2,434	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額	-2,404	-2,404	0	0	0	0	0
特別収支							
科 目	2024年度予算	2024年度実績					
	学院合計 (法人本部含)	学院合計 (法人本部含)	高校全日	高校通信	中 学	小学校	幼稚園
事業活動収入の部 合計	2,990	12,440	4,900	680	0	2,191	4,669
(施設設備寄付金)	0	11,257	4,900	680	0	2,177	3,500
(現物寄付金 他)	2,990	183	0		0	14	169
(施設設備補助金)		1,000	0		0	0	1,000
事業活動支出の部 合計	0	0	3	0	1	1	0
(資産処分差額・過年度修正等)	0	0	3		1	1	0
特別支差額	2,990	12,440	4,897	680	-1	2,190	4,669
収支差額							
科 目	2024年度予算	2024年度実績					
	学院合計 (法人本部含)	学院合計 (法人本部含)	高校全日	高校通信	中 学	小学校	幼稚園
予備費	0	0	0	0	0	0	0
基本金組入前当年度収支差額	-148,835	-84,772	-7,985	17,279	-38,920	-55,374	18,569
基本金組入額合計	-18,076	-36,868	-7,448	-127	-3,439	-14,334	-11,518
当年度収支差額	-166,911	-121,640	-15,433	17,152	-42,359	-69,708	7,051
前年度繰越収支差額	-3,104,000	-3,143,081					
基本金取崩額	0	0					
翌年度繰越収支差額	-3,270,911	-3,264,721					

◆ 貸借対照表

2025年 3月31日

学校法人賢明学院
(単位: 千円)

資産の部

科 目	2024年度末	2023年度末	増 減
固定資産	3,396,173	3,399,616	-3,443
有形固定資産	3,163,301	3,168,026	-4,725
土 地	951,909	951,909	0
建 物	2,013,251	2,104,973	-91,722
構 築 物	121,560	47,733	73,827
教育研究用機器備品	39,055	32,325	6,730
管理用機器備品	167	334	-167
図 書	31,859	30,752	1,107
車 両	0	0	0
建 設 仮	5,500	0	5,500
特定資産	230,437	228,064	2,373
退職給与引当特定資産	100,002	100,000	2
減価償却引当特定資産	50,014	50,013	1
期成会事業積立特定資産	25,183	24,124	1,059
スカラシップ引当特定資産	55,238	53,927	1,311
その他の固定資産	2,435	3,526	-1,091
ソフトウェア	1,427	2,398	-971
長期貸付金	8	128	-120
出 資 金	1,000	1,000	0
流動資産	216,953	147,724	69,229
現 金 預 金	154,095	124,019	30,076
未 収 入 金	62,195	23,039	39,156
貯 蔵 品	0	0	0
立 替 金	392	213	179
前 払 金	271	453	-182
資産の部合計	3,613,126	3,547,340	65,786

負債の部

科 目	2024年度末	2023年度末	増 減
固定負債	300,705	211,717	88,988
長期借入金	223,830	136,410	87,420
退職給与引当金	76,875	75,307	1,568
長期未払金	0	0	0
流動負債	584,071	522,199	61,872
短期借入金	412,580	365,540	47,040
未 払 金	54,017	46,008	8,009
前 受 金	73,606	64,258	9,348
預 り 金	43,868	46,393	-2,525
負債の部合計	884,776	733,916	150,860

純資産の部

科 目	2024 年度末	2023 年度末	増 減
基本金	5,993,073	5,956,206	36,867
第1号 基本金	5,874,073	5,837,206	36,867
第4号 基本金	119,000	119,000	0
繰越収支差額	-3,264,723	-3,143,081	-121,642
翌年度繰越収支差額	-3,264,723	-3,143,081	-121,642
純資産の部合計	2,728,350	2,813,125	-84,775
科 目	2024 年度末	2023年度末	増 減
負債の部及び純資産の部合計	3,613,126	3,547,041	66,085

◆ 2025年3月31日 財産目録

(単位:千円)

科 目	財 産 名	金 額
土 地	校 地	951,909
建 物	校 舎	2,013,251
構 築 物	外 構 プール 人工芝等	121,560
教育研究用機器備品	机・椅子・黒板などの教育用備品	39,055
管理用機器備品	業務管理用パソコン等	167
図 書	教育用図書	31,859
車 両	軽自動車2台 スクールバス1台	0
建設仮勘定	高校校舎新築に伴う設計費	5,500
退職給与引当特定資産	銀行預金	100,002
減価償却引当特定資産	銀行預金	50,014
期成会事業積立特定資産	銀行預金	25,183
その他の引当特定資産	銀行預金	55,238
ソフトウェア	各種システム	1,427
長期貸付金	奨学金貸付	8
出 資 金	子会社への出資金	1,000
基 本 財 産 計		3,396,173
現 金 預 金	銀行預金	154,095
未 収 入 金	私学総連合会退職金事業部より退職金収入	62,195
その他流動資産	立替金・前払金等	663
運 用 財 産 計		216,953
資 産 の 部 合 計		3,613,126
長 期 借 入 金		223,830
退職給与引当金		76,875
長 期 未 払 金	1年を超えるリース債務残高	0
固 定 負 債 計		300,705
短 期 借 入 金	1年以内に返済する短期資金	412,580
未 払 金	期末未払金	54,017
前 受 金	入学金前受金等	73,606
預 かり 金	積立金等	43,868
流 動 負 債 計		584,071
負 債 の 部 合 計		884,776
差 引 純 資 産		2,728,350

◆2024年度 学校法人の財務分析

項 目	計 算 式	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	概要
人件費比率	人件費÷事業活動収入	89.1%	90.5%	89.2%	86.1%	80.7%	2021年度から10ポイント程度低下している。一方賞与は、23年に減額分を24年に回復しているため、単なる給与カットによる比率野低下ではなく、収入増や人員配置野適正化によって低下したことがわかる。同様に、2025は75%近くまで引き下げることで、収支の健全化を図る。
人件費比率 (退職関係除く)	人件費(退職関係除く) ÷事業活動収入	88.5%	85.8%	85.1%	83.7%	77.9%	退職金を除く人件費比率は、2020年度もピークに下落し、2024年度決算では77.9%となった。最も比率の高かった2020年度より10ポイント以上引き下げている。主たる要因は収入増である。2025年度も同等の収入増加により70%台前半までの引き下げが確実な状況である。
減価償却比率	減価償却額÷事業活動支出	9.5%	8.0%	8.1%	8.8%	7.9%	固定資産への資金投下は、平均を若干下回る。2024年度は1億円程度の設備投資を行ったが、減価償却が2025年度からとなることや、2024年度の収入増によって比率は減少している。
補助金比率	補助金÷事業活動収入	39.7%	38.9%	38.2%	38.9%	47.5%	2024年度の幼稚園が認定こども園化に伴い、幼稚園の学生生徒納付金が無くなり、補助金収入に変わったことや、いわゆる高校無償化制度において所得制限が撤廃されたことによって、授業料収入が補助金収入に変わったことで、補助金の比率が大きく増加した。
教育研究経費比率	教育研究経費÷事業活動収入	23.7%	24.1%	27.4%	26.5%	22.7%	収支の均衡に支障をきたさない程度で高く保つ必要があるが、その観点からは若干比率が低いと思う。支出に占める人件費の割合が高いため、教育研究費が抑制されている側面もあるため、支出の配分を適正化していく。
固定比率	固定資産÷(基本金+消費収 支差額合計)	110.0%	113.0%	112.9%	120.8%	124.5%	固定資産に投下する資金が、自己資金及び固定負債の範囲であるかどうかを表す指標である。収支差額のマイナスの累積によって、数値が拡大している。
固定長期適合率	固定資産÷(固定負債+基本金+ 消費収支差額合計)	105.0%	108.0%	108.1%	112.3%	112.1%	固定資産に投下する資金が、自己資金及び固定負債の範囲であるかどうかを表す指標であり、固定比率を補充する役割をもつ。収支差額のマイナスの累積によって、数値が拡大している。資産額等が特に過大なわけではないので、収支差額を黒字化することによって健全化を図っていく。
流動比率	流動資産÷流動負債	35.8%	23.4%	33.3%	28.3%	37.1%	高い方が望ましい。2025年度は、キャッシュフローの黒字化が見込まれるので、年度末の短期借入が減少し、流動比率が高まることが予想される。
総負債比率	負債合計÷資産合計	11.6%	13.3%	14.6%	20.7%	24.5%	低いほうが望ましい。年度末の資金需要のために、3月に借入れ、4月に返済する短期借入金が増えたため、比率が上昇している。2025年度以降は、年度末資金の短期借入による調達で減少する見込であり、比率は下落すると見込んでいる。
前受金保有率	現金預金÷前受金	156.8%	47.0%	162.4%	193.0%	209.4%	この比率が100%を下回らないことが望ましい。2021年度は資金調達時期の関係から、一時的に手元資金が減少したため保有率が下がったが、2022年度以降は十分な資金を保有している。
退職給与引当率	退職給与引当特定預金÷ 退職給与引当金	125.9%	135.2%	0.0%	132.8%	130.1%	支払義務のある退職金に対し、どのくらい資金を保有しているかを示す。2022年度は一時的な資金取崩によって保有率が0となったが、2023年度以降は100%超を維持している。
事業活動収支比率	事業活動支出÷事業活動収入	115.5%	117.7%	119.7%	117.1%	106.5%	収支が均衡する100%前後が望ましい。2023年度に若干改善し、2024年度には10ポイント超の改善となった。2025年度も大幅な改善を見込んでおり、収支均衡点に近づく予想である。

監 査 報 告 書

2025年5月10日

学校法人賢明学院

理事会 御中

評議員会 御中

学校法人賢明学院

監 事 堀本 修志

監 事 板戸 史朗

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人賢明学院寄附行為第28条の規定に基づき、学校法人賢明学院の2024年度(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行いました。

私たちは監査に当たり、理事会及び評議員会に出席し、理事等から業務の報告を聴取するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、学校法人賢明学院の業務に関する決定及び執行並びに理事の業務執行は適切であり、計算書類並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務若しくは財産又は理事の業務執行に関する不正の行為、又は、法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以 上